

・今帰仁漁協の漁業者によるハマフエフキの水揚げ量には、秋に大きなピーク、春に小さなピークがみられた。これは沖縄南部の糸満漁港へのハマフエフキの水揚量が、春に大きなピーク、秋に小さなピークがみられるとの対象的であり、漁法や漁場の違いによる漁獲魚の大きさの相違によると推察される。今後、標本船や市場調査などによって漁場や漁獲物の体長組成を調べる必要がある。

昭和56年7月1日 沖縄県

文 献

金城清昭 (1983) 沖縄島におけるフエフキダイ科魚類の浮遊生活期の生態に関する予備的研究. 西海区プロック浅海開発会議, 魚類研究会報, (1), 69-79.

金城清昭・海老沢明彦・川崎一男 (1983) 糸満周辺海域のハマフエフキ稚仔保育場造成事業調査, 昭和56年度沖縄県水産試験場事業報告書, 76-128.

北川衛・山口光明・萩野節男 (1983) マダイの腹鱗抜去による標識法について. 栽培技研, 12, (1), 5-9.

倉田博 (1983) 札をつける. 東北水研ニュース, (25), 4-5.

増村和彦・佐藤正明 (1974) マダイの標識方法について. 栽培技研, 3, (1), 1-7.

松宮義晴 (1983) 沿岸水産生物の資源評価. 水産資源の解析と評価 (水産学シリーズ 46). 恒星社厚生閣, 東京, 115-129.

宮城県気仙沼水試 (1984) 標識に関する実験的検討. 昭和58年度放流技術開発事業実績報告書. クロソイ, 30-32.

長崎県水産試験場 (1982) 小型放流種苗と天然幼魚の生態. 昭和56年度九州西海・日本海西部回遊性魚類共同放流実験調査事業. マダイ共同報告書, 35-47.

能勢幸雄 (1961) PETERSEN 型資源量推定法の一吟味. 日水誌, 27(8), 763-773.

沖縄県水産試験場 (1975 a) 栽培漁業資源生態調査報告書 (昭和47~49年度総合版)ハマフエフキ・アオリイカ, 1~29.

- (1975 b) 昭和50年度沖縄周辺重要水産資源調査, 沖縄水試資料 (26), 35pp.
- (1976) 昭和51年度 , (27), 40 pp.
- (1977) 昭和52年度 , (31), 64pp.
- (1978) 昭和53年度 , (43), 75pp.
- (1981) 昭和54年度 結果報告書, (49), 78 pp.
- (1982) 昭和55年度 , (56), 66 pp.

